

## 結果の要約

### 1 職業

山口県の15歳以上就業者数(716,331人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業者」が218,711人(15歳以上就業者数の30.5%)と最も多く、次いで「事務従事者」が124,688人(同17.4%)、「専門的・技術的職業従事者」が94,236人(同13.2%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が7,681人(11.9%)増、「保安職業従事者」が987人(6.8%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が3,345人(17.0%)減、「運輸・通信従事者」が3,528人(11.6%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「生産・運輸関係職業」が34.3%と最も高く、次いで「事務・技術・管理関係職業」が32.8%、「販売・サービス関係職業」が25.1%、「農林漁業関係職業」が6.8%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が1.1ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ0.8ポイント、0.5ポイント、0.4ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」	= 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」	= 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業者」
「販売・サービス関係職業」	= 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」	= 「農林漁業作業者」

### 2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は40.3時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が47.1時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が45.1時間、「管理的職業従事者」が43.9時間などとなっている。平成12年と比べると、「保安職業従事者」が0.4時間増となっている。一方、「サービス職業従事者」が2.0時間減、「販売従事者」が1.8時間減などとなっている。

### 3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が166,528組(夫婦数373,745組の44.6%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が109,260組(同29.2%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業者」である夫婦が17,246組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の10.4%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業者」、妻が「事務従事者」である夫婦が16,417組(同9.9%)などとなっている。

### 4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は178,115世帯(住宅に住む一般世帯579,805世帯の30.7%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は401,690世帯(同69.3%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が169,900世帯(同29.3%)、「女性のみ」の世帯が74,185世帯(同12.8%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が30,598世帯(同5.3%)となっている。

図1 山口県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

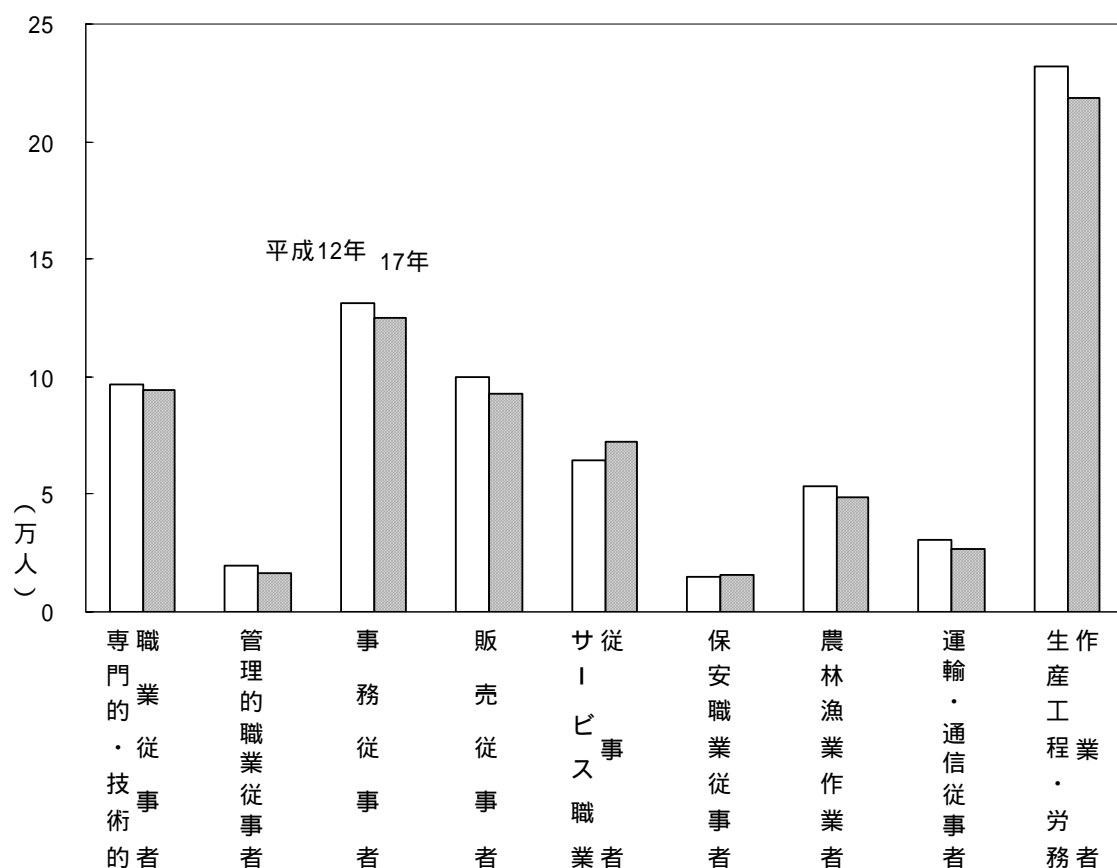


図2 山口県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

